

—まさかは突然やってくる—

# 災害から 大切な命を守るために

☎危機管理課（防災センター 2 階）

☎ 0538-37-2114 FAX 0538-32-0177



## 01 磐田市内の災害想定

磐田市は、地形、地質、気象などの自然的条件から、北地区の山地や磐田原台地では土砂災害、遠州灘に面した南地区では津波災害など、さまざまな自然災害が想定されています。

### 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後 30 年以内に 70%～80%とされています。市内の約 8 割の地域で震度 7 の揺れ、沿岸地域では 12 m（最大津波高）の津波が地震発生から 19 分で襲来し、市内に甚大な被害をもたらすと想定されています。

#### 市内被害想定

建物被害	全壊	27,000 棟
	半壊	16,000 棟
人的被害	死者	1,900 人
	重症者	2,400 人
	軽傷者	4,100 人

出典：静岡県第 4 次地震被害想定

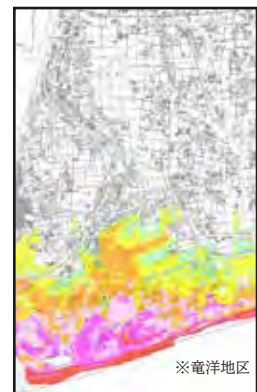
推定震度分布図



震度階級



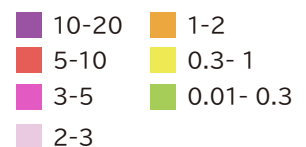
推定津波浸水域図



※竜洋地区



最大浸水深 (m)



### 風水害

市内には 1 級河川の天竜川、2 級河川の太田川、そのほか仿僧川や今ノ浦川などが流れており、市内の低地ではほとんどの地域が浸水想定区域となっています。

また、土砂災害のおそれがある区域として 347 カ所の土砂災害警戒区域が指定されています。



▲令和 4 年台風第 15 号による被害（神増地区）

# 02 災害に備えて、 これまでの磐田市の取り組み

市では、想定される地震・津波、風水害に備えて、ハード・ソフトを組み合わせた防災対策、減災対策を進めています。



## 南海トラフ巨大地震への対策



① ▲津波避難タワー

- ・海岸防潮堤の整備
- ・津波避難施設の整備 ①
- ・公共建築物の耐震化
- ・磐田市地震・津波対策アクションプログラムの推進

## 地震・風水害への対策



② ▲災害用マンホールトイレ

- ・防災備蓄ステーションの設置
- ・避難所機能の充実 ②
- ・SNS による情報発信
- ・民間企業などとの災害時応援協定の締結

## 風水害への対策

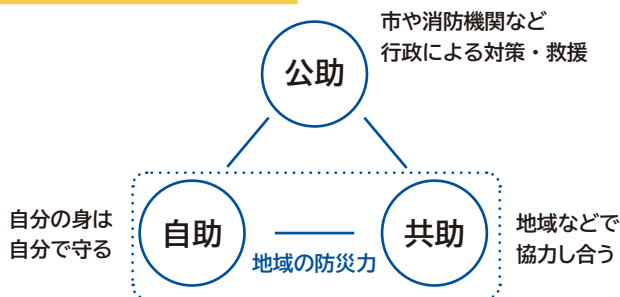


③ ▲ SNS 情報集約サービスの導入

- ・ SNS 情報集約サービスの導入 ③
- ・浸水センサの設置
- ・車中および車両の一時避難場所の確保
- ・指定緊急避難場所の見直しなど

## 自分の命は自分で守るために

大規模災害時では、「公助（行政支援）」に限界があります。自分の命は自分で守る「自助」は防災の基本です。自分の命を守ることは、家族や友人、隣人などを助け、協力し合う「共助」に繋がり、地域の防災力を高めることができます。



### 災害リスクを知ろう

自宅や職場、学校などにどのような災害リスクがあるか、ハザードマップで確認しましょう。



▲ハザードマップ

### 避難場所や連絡方法を確認しよう

自宅や職場など、それぞれの避難場所や避難経路を決めましょう。また、災害時の安否や所在の確認方法を家族で話し合っておきましょう。



### 1週間分の備蓄をしよう

ライフラインが止まった場合に備えて、飲料水や食料、携帯トイレなどを「家族の人数×1週間分」備蓄しておきましょう。



### 情報収集をしよう

緊急情報は、同報無線などでお知らせしますが、自ら積極的に情報を収集するように努めましょう。避難情報、気象情報などから自分で気付く、考え、行動することが大切です。



▲ホットメール



▲LINE